

令和7年度 県民文化芸術活動実態調査（概要版）

この概要版は、「県民文化芸術活動実態調査」の結果を取りまとめたものです。

調査は、県民による文化芸術活動の実態や県による文化行政に対する県民の考え等を把握し、県民の文化芸術活動への参加促進など、今後の文化芸術振興施策の展開のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

調査の実施概要

1 調査の設計

調査対象 : 埼玉県内在住の満18歳以上の男女
調査期間 : 令和7年6月16日(月)～7月4日(金)
調査方法 : 郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用法
標本の大きさ : 3,000人
抽出方法 : 層化二段無作為抽出法

2 回収結果

有効回収数(率) : 1,360人(45.3%)

3 回答者のプロフィール

<性別>

(%)

	n	男性	女性	その他	無回答
全体	1,360	41.7	56.6	0.4	1.3

<年齢>

(%)

	n	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体	1,360	1.5	7.1	10.8	15.1	18.4	17.4	28.5	1.2

<職業>

(%)

	n	自営業主	家族従業	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	学生	専門の主婦・主夫	その他の無職	無回答
全体	1,360	6.9	1.6	33.9	17.6	2.9	14.5	20.7	1.8

<この概要版を読むにあたって>

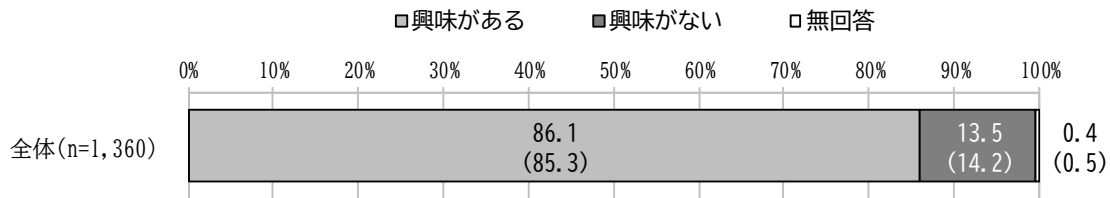
- ・グラフ中の数値は、その質問項目に該当する回答者の数（nと表示）を100.0%として計算した比率です。
- ・計算の都合上、四捨五入しているため、比率の合計は100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の質問は回答の合計が100.0%を超えることがあります。
- ・この調査は令和2年度から開始され、今回が2回目の実施となります。

1

文化芸術に関する興味・関心について

(1) 興味・関心の有無【報告書 14～15 ページ】

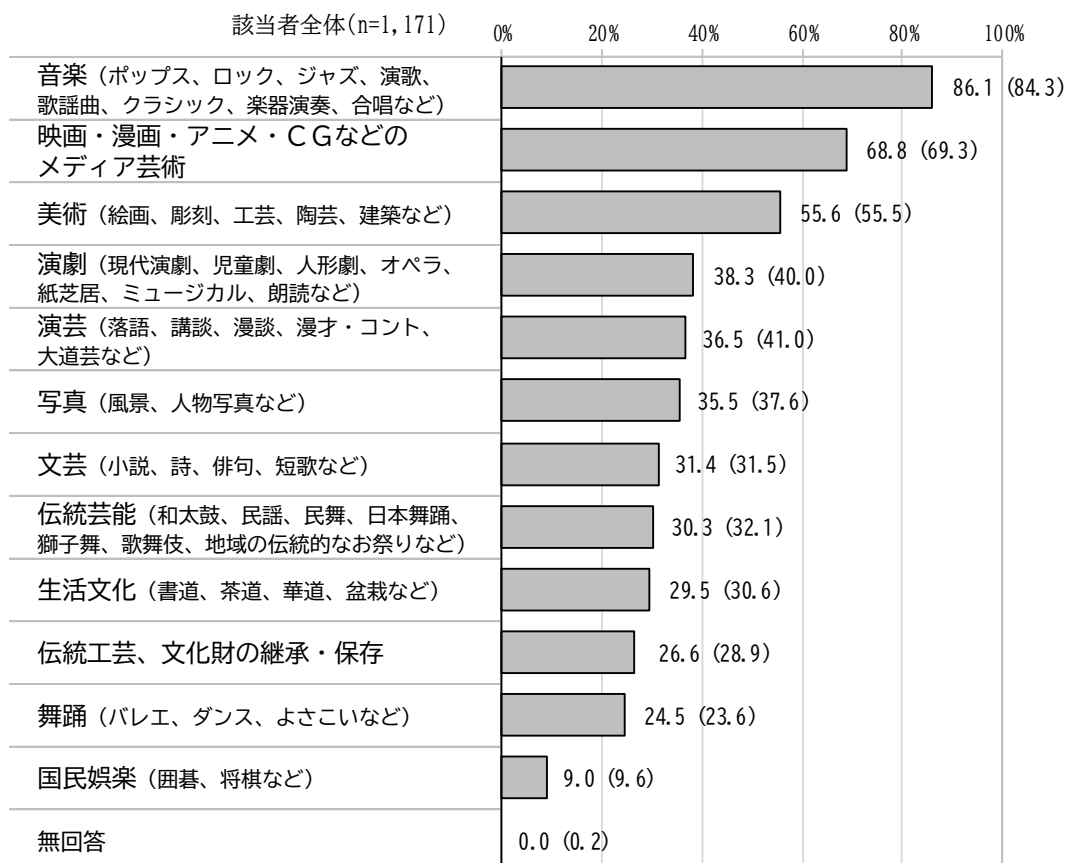
●文化芸術に「興味がある」は、8割台半ばとなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,702)

(2) 興味がある分野【報告書 16～18 ページ】

●「興味がある」とした方に、興味がある分野を聞いたところ、「音楽」が8割台半ばで最も高くなっています。



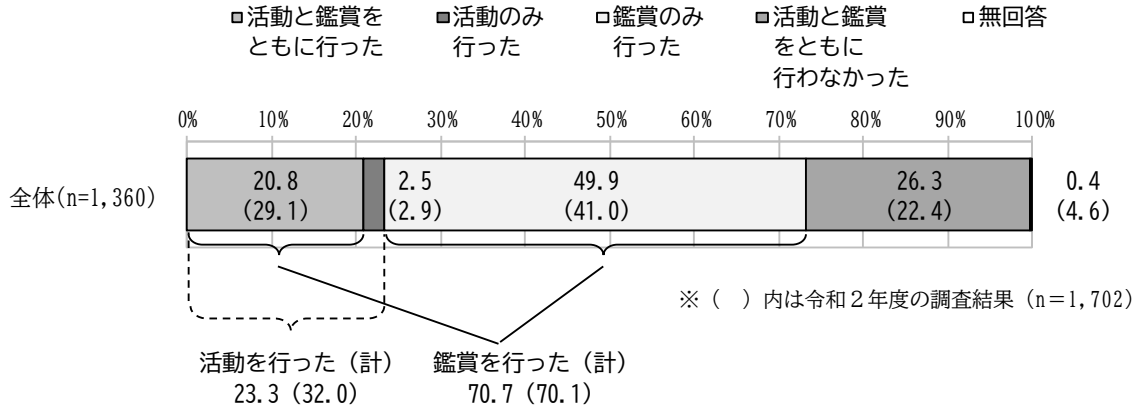
※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,451)

2

日頃の文化芸術に関する活動状況について

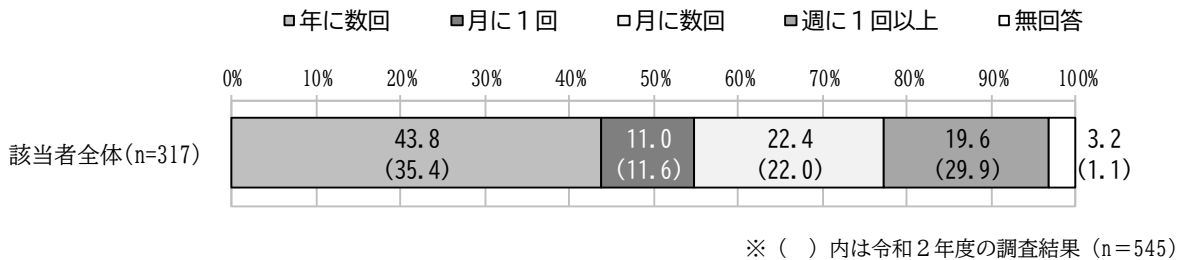
(1) この1年間の活動及び鑑賞の経験【報告書 19～20 ページ】

- 「活動と鑑賞をともに行った」と「活動のみ行った」をあわせた「活動を行った(計)」が2割台半ば、「活動と鑑賞をともに行った」と「鑑賞のみ行った」をあわせた「鑑賞を行った(計)」が全体の約7割となっています。



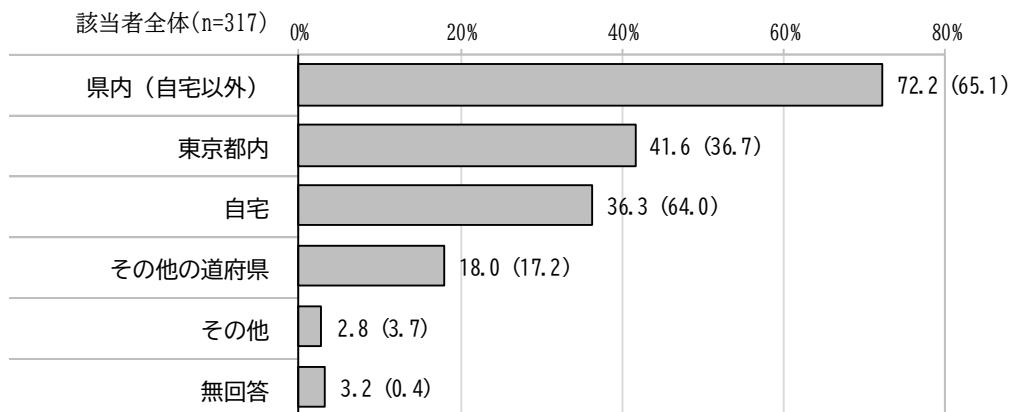
(2) 活動頻度【報告書 21～22 ページ】

- この1年間に活動を行った方に、活動頻度を聞いたところ、「年に数回」が4割台半ばで最も高くなっています。



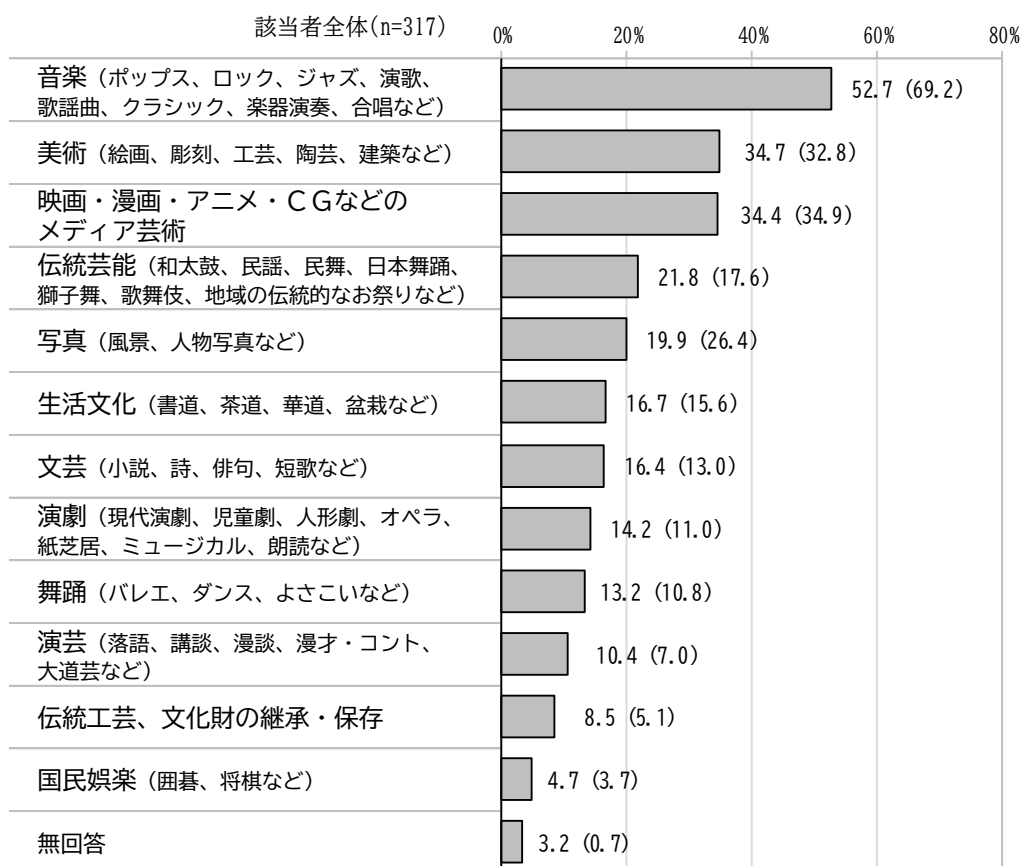
(3) 活動場所【報告書 23～24 ページ】

- この1年間に活動を行った方に、活動場所を聞いたところ、「県内(自宅以外)」が7割強で最も高くなっています。



(4) 活動内容【報告書 25～27 ページ】

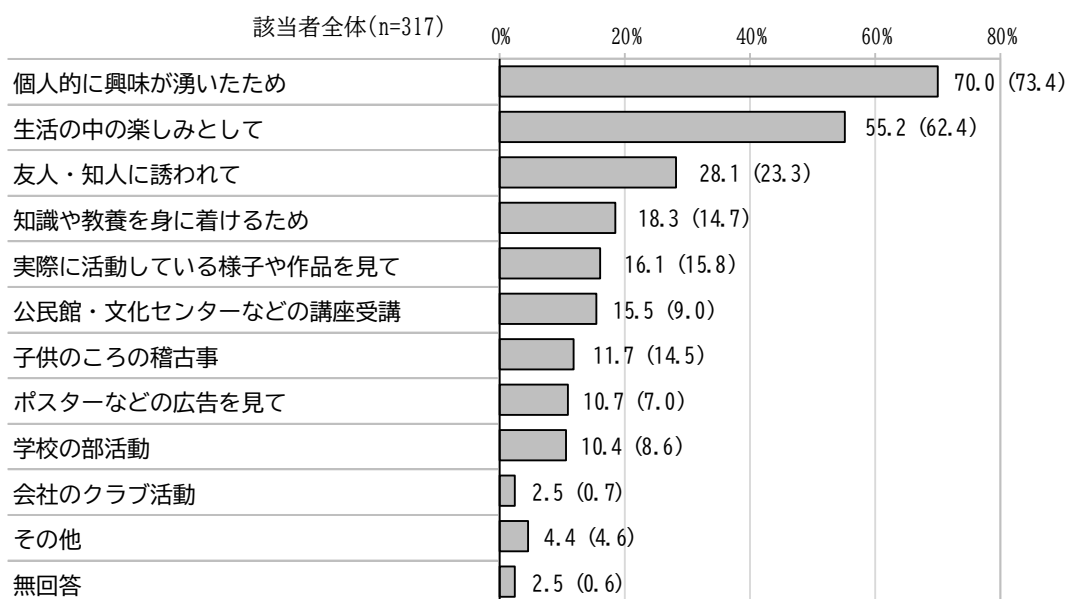
●この1年間に活動を行った方に、活動内容を聞いたところ、「音楽」が5割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=545)

(5) 活動を始めたきっかけ【報告書 28～30 ページ】

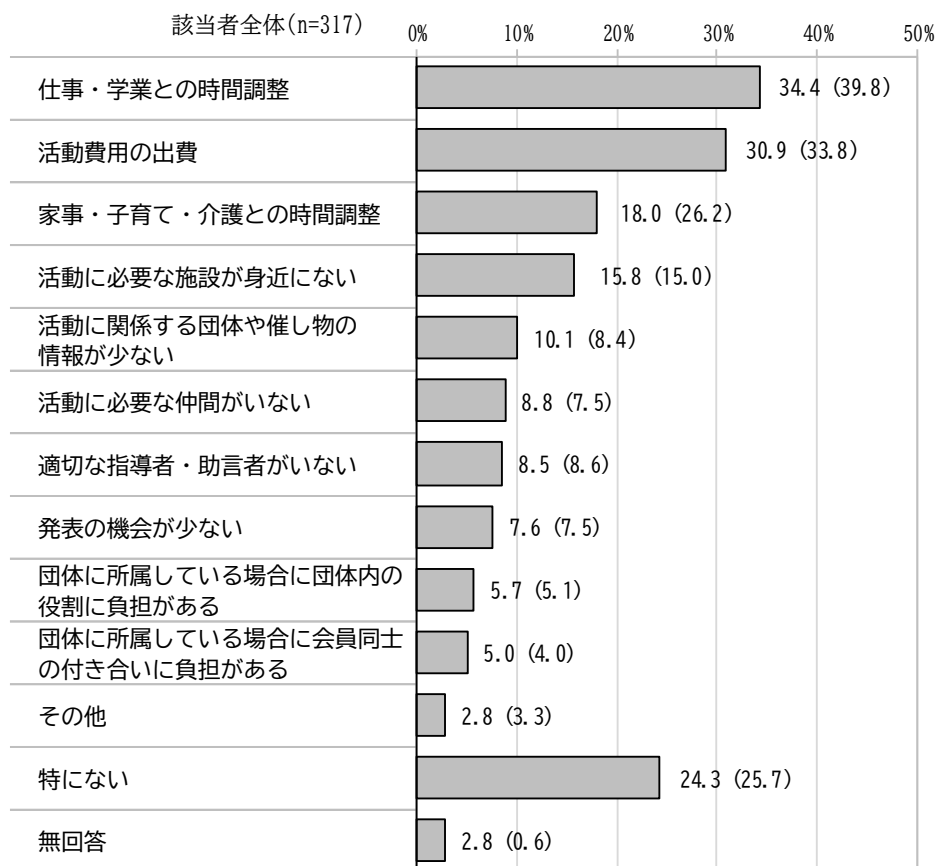
●この1年間に活動を行った方に、活動を始めたきっかけを聞いたところ、「個人的に興味を湧いたため」が7割で最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=545)

(6) 活動を行う上で困っていること【報告書 31～33 ページ】

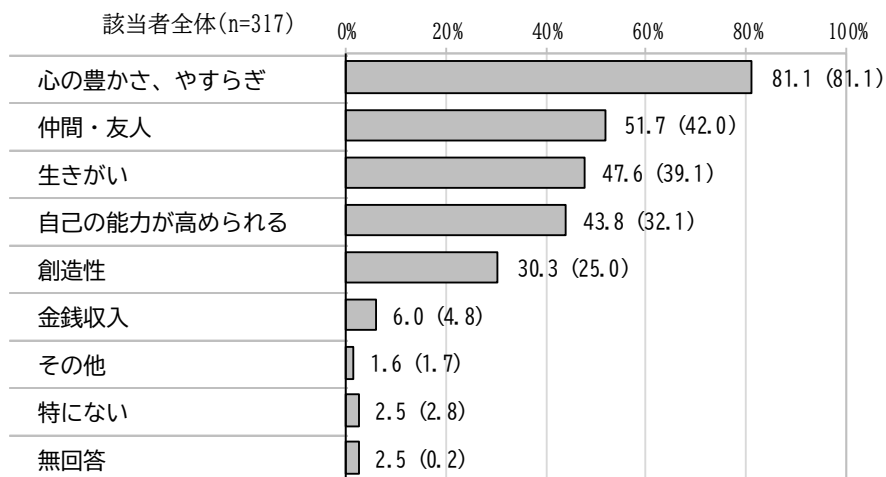
●この1年間に活動を行った方に、活動を行う上で困っていることを聞いたところ、「仕事・学業との時間調整」が3割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=545)

(7) 活動から得たもの【報告書 34～36 ページ】

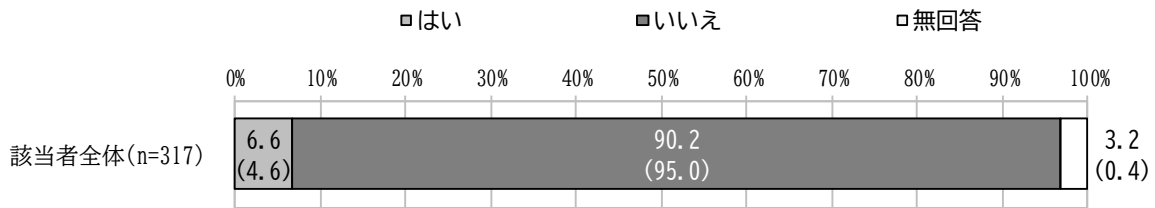
●この1年間に活動を行った方に、活動から得たものを聞いたところ、「心の豊かさ、やすらぎ」が8割強で最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=545)

(8) 活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無【報告書 37～38 ページ】

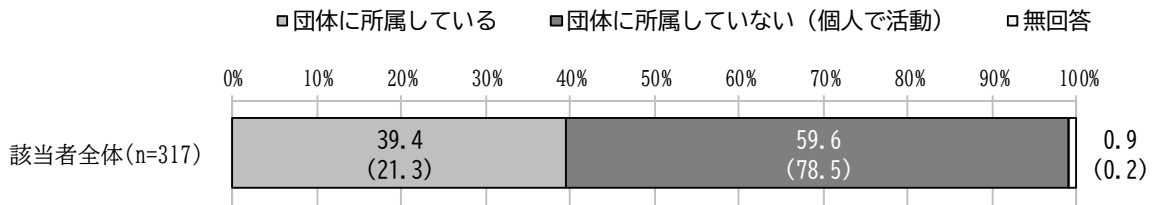
●この1年間に活動を行った方に、活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無を聞いたところ、「はい」が6.6%となっています。



※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=545）

(9) 団体への所属有無【報告書 39～40 ページ】

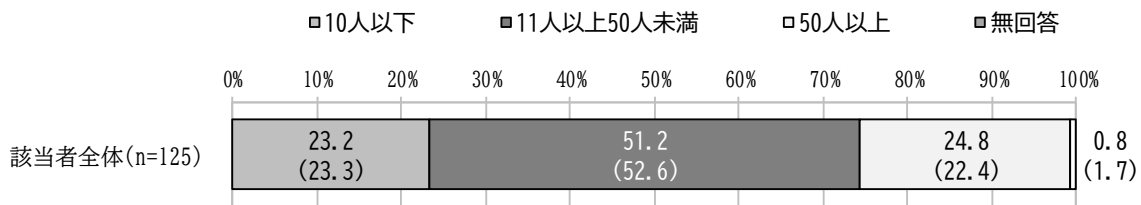
●この1年間に活動を行った方に、団体への所属有無を聞いたところ、「団体に所属している」は約4割となっています。



※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=545）

(10) 所属団体の規模【報告書 41～42 ページ】

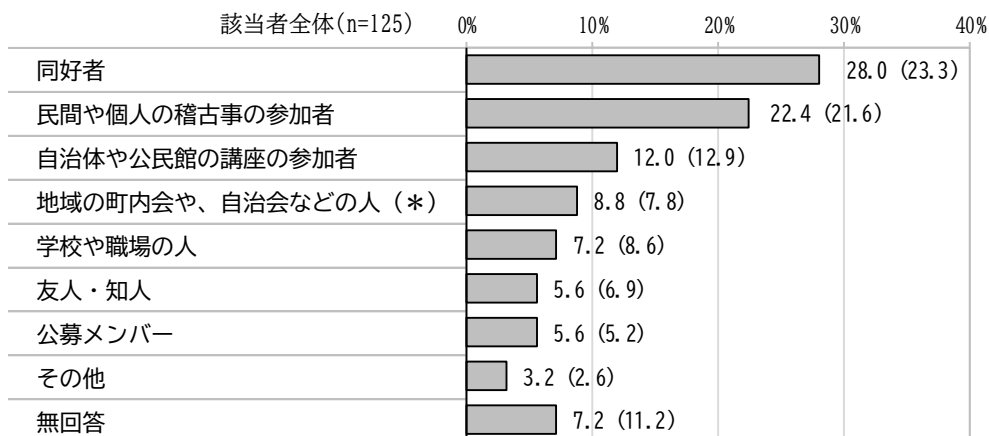
●団体に所属している方に、所属団体の規模を聞いたところ、「11人以上50人未満」が5割強で最も高くなっています。



※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=116）

(11) 所属団体のメンバー構成【報告書 43～45 ページ】

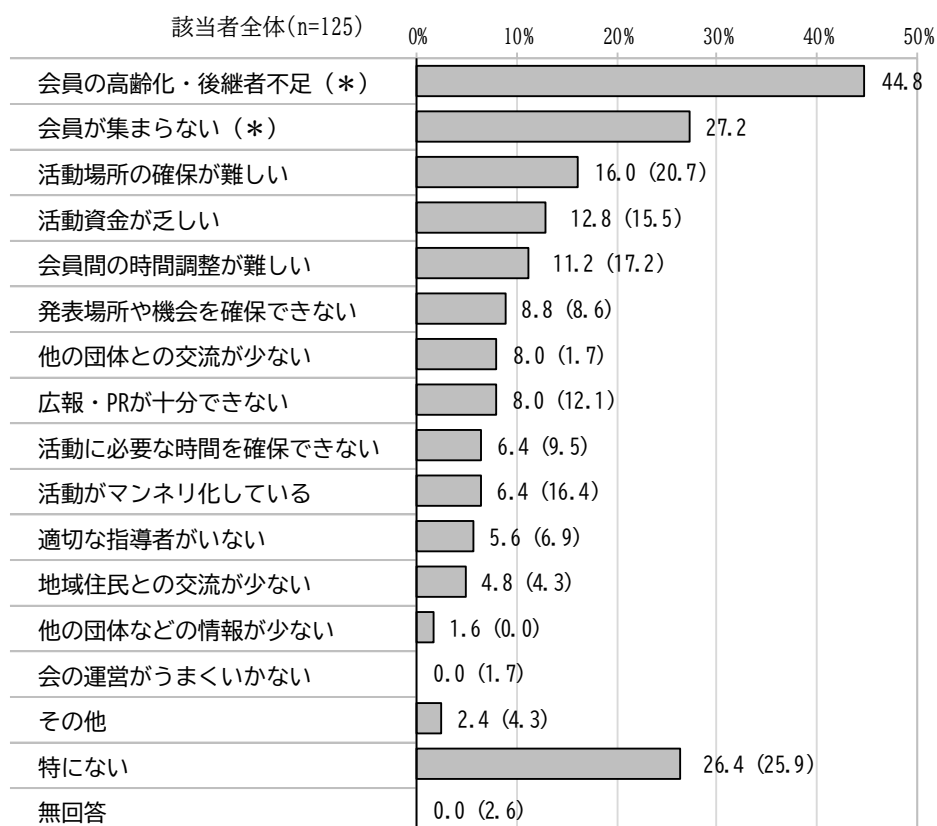
●団体に所属している方に、所属団体のメンバー構成を聞いたところ、「同好者」が3割弱で最も高くなっています。



（*）令和2年度は「地域の青年団・婦人会・自治会などの人」で実施 ※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=116）

(12) 所属団体の活動上の問題・課題【報告書 46～48 ページ】

●団体に所属している方に、所属団体の活動上の問題・課題を聞いたところ、「会員の
高齢化・後継者不足」が4割台半ばで最も高くなっています。

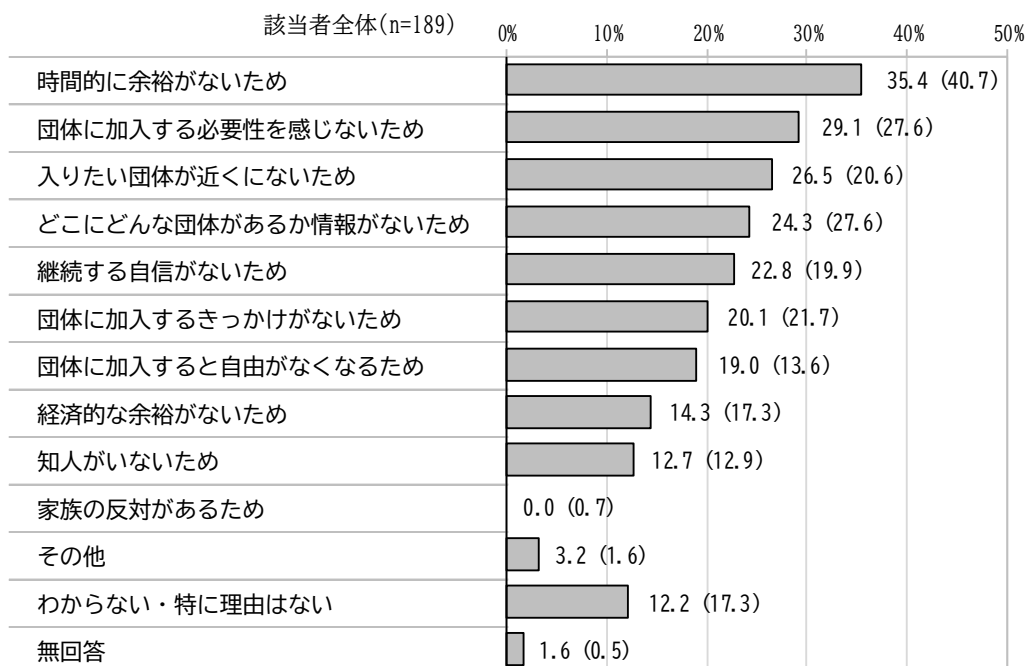


(*) 令和2年度の選択肢「会員が集まらない・後継者がいない」を分割して実施

※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=116)

(13) 団体に加入していない理由【報告書 49～51 ページ】

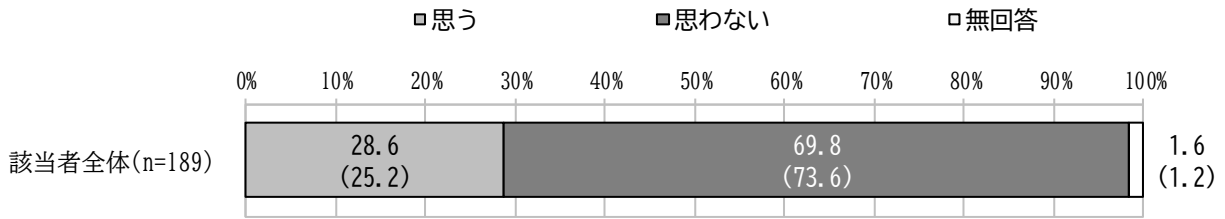
●団体に所属していない方に、団体に加入していない理由を聞いたところ、「時間的に
余裕がないため」が3割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=428)

(14) 団体への参加意向の有無【報告書 52～53 ページ】

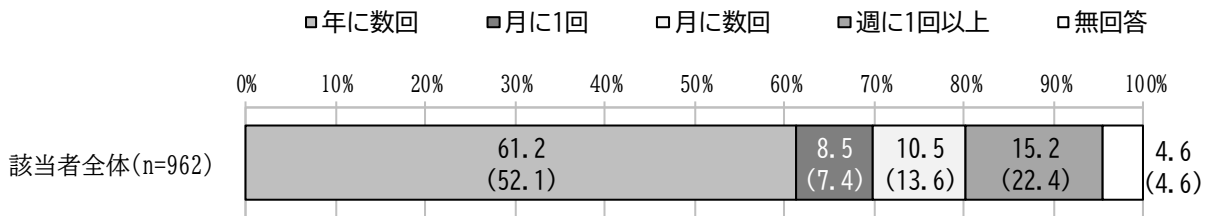
●団体に所属していない方に、団体への参加意向の有無を聞いたところ、「思う（参加意向あり）」は3割弱となっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=428)

(15) 鑑賞頻度【報告書 54～55 ページ】

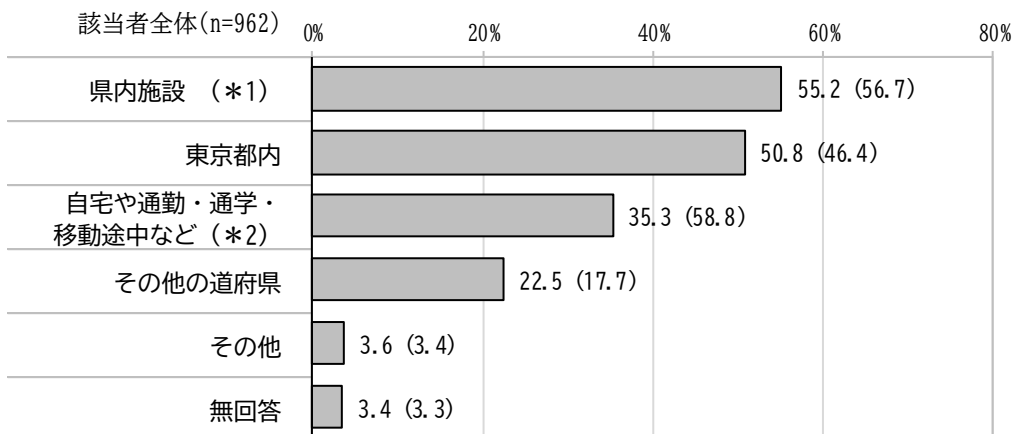
●この1年間に鑑賞を行った方に、鑑賞頻度を聞いたところ、「年に数回」が6割強で最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,193)

(16) 鑑賞場所【報告書 56～57 ページ】

●この1年間に鑑賞を行った方に、鑑賞場所を聞いたところ、「県内施設」が5割台半ばで最も高くなっています。



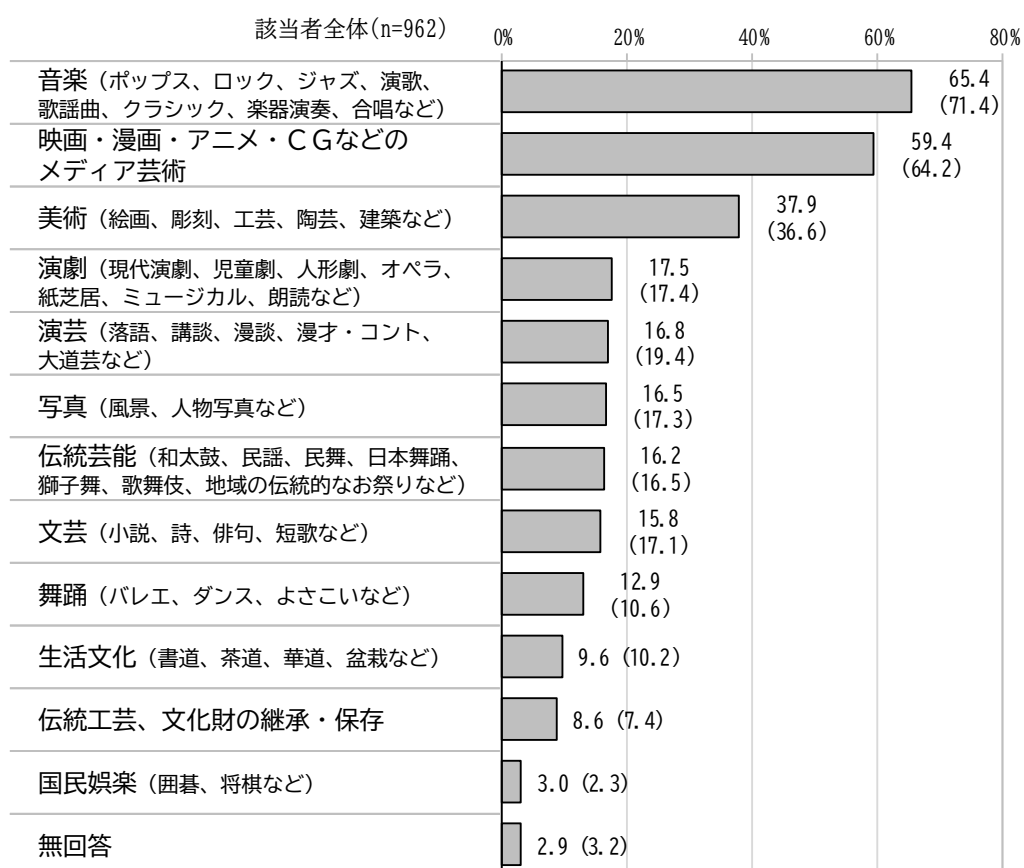
(*1) 令和2年度は「県内（自宅以外）」で実施

(*2) 令和2年度は「自宅」で実施

※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,193)

(17) 鑑賞内容【報告書 58～60 ページ】

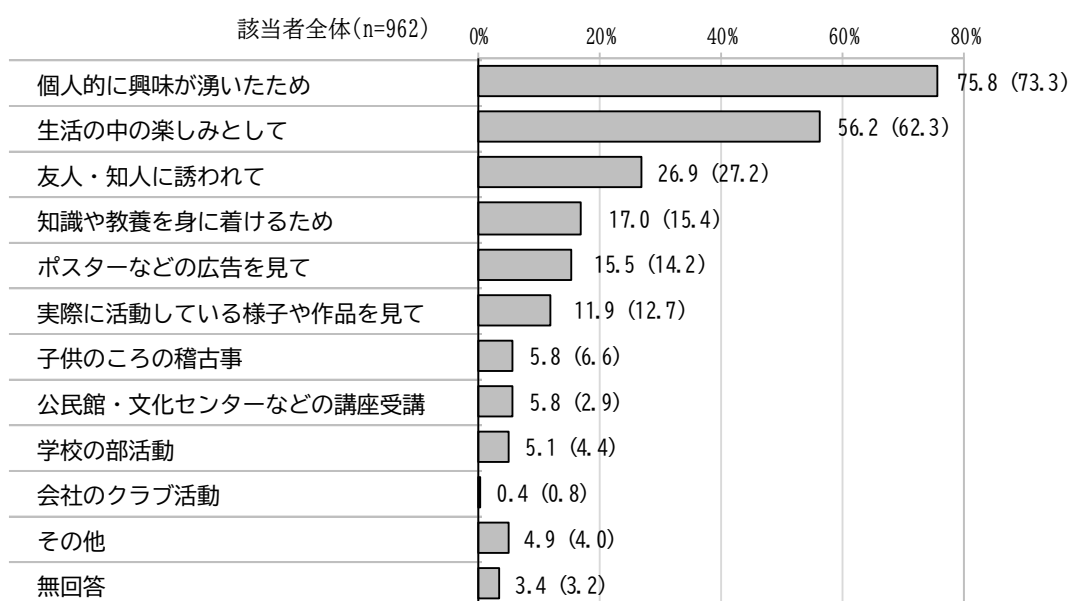
●この1年間に鑑賞を行った方に、鑑賞内容を聞いたところ、「音楽」が6割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,193)

(18) 鑑賞を始めたきっかけ【報告書 61～63 ページ】

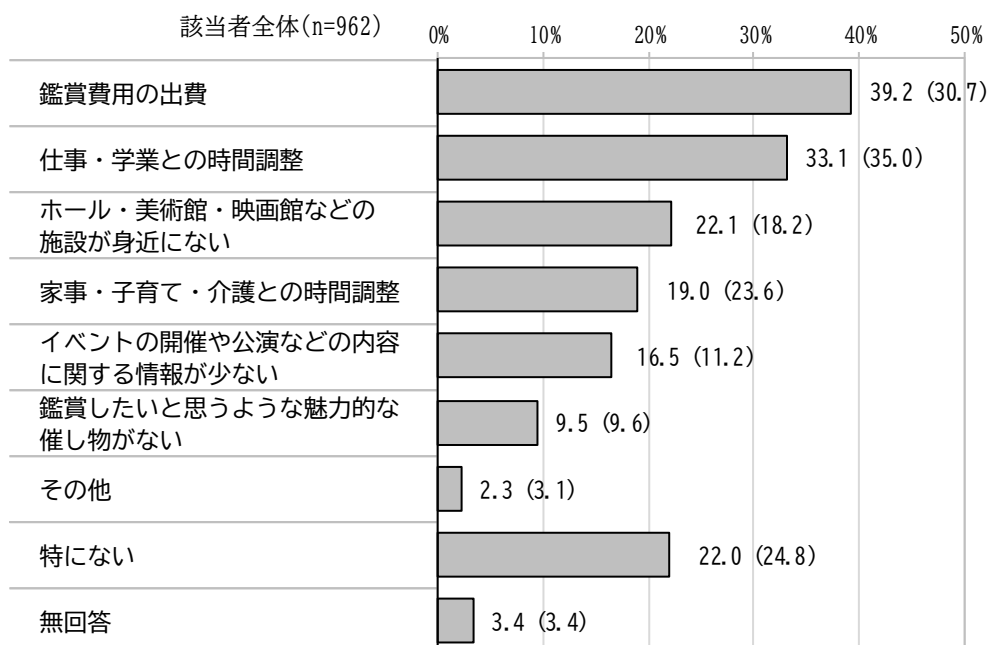
●この1年間に鑑賞を行った方に、鑑賞を始めたきっかけを聞いたところ、「個人的に興味湧いたため」が7割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,193)

(19) 鑑賞を行う上で困っていること【報告書 64～66 ページ】

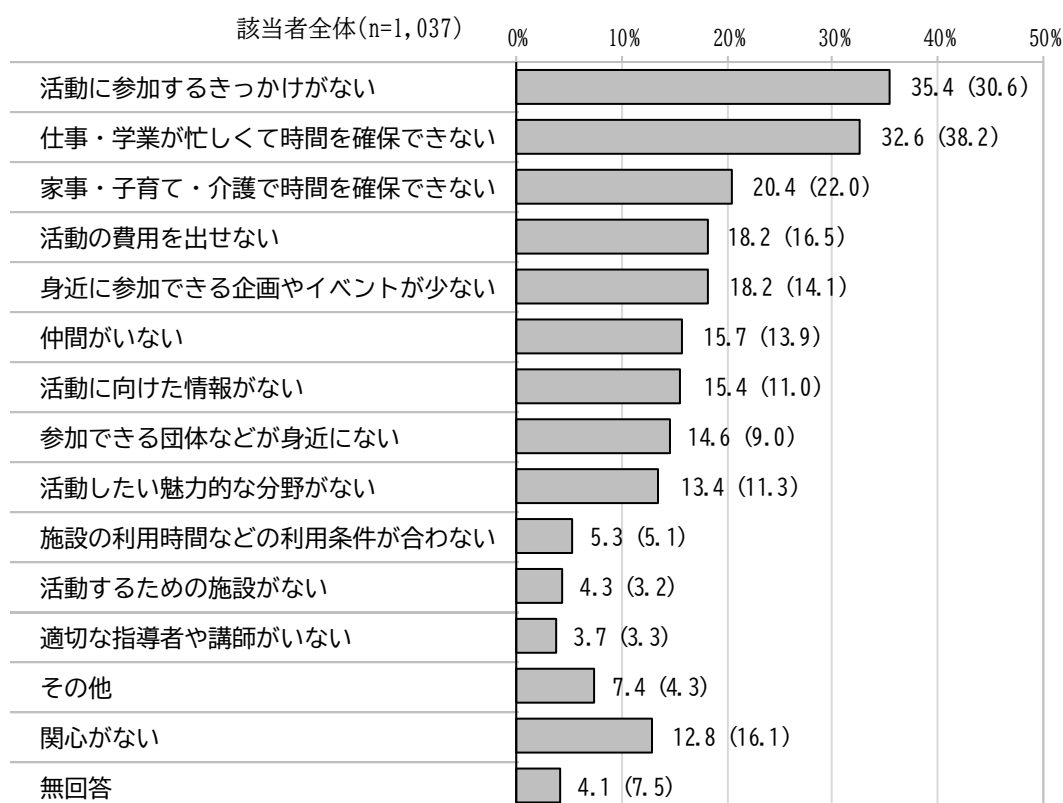
●この1年間に鑑賞を行った方に、鑑賞を行う上で困っていることを聞いたところ、「鑑賞費用の出費」が約4割で最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,193)

(20) 活動していない理由【報告書 67～69 ページ】

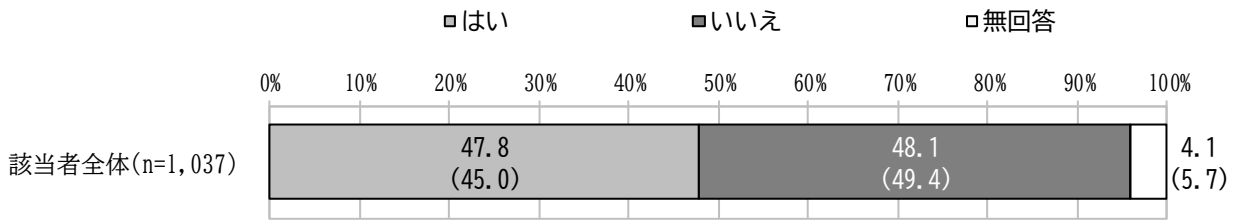
●この1年間に活動を行っていない方に、活動していない理由を聞いたところ、「活動に参加するきっかけがない」が3割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,078)

(21) 今後の活動意向の有無【報告書 70～71 ページ】

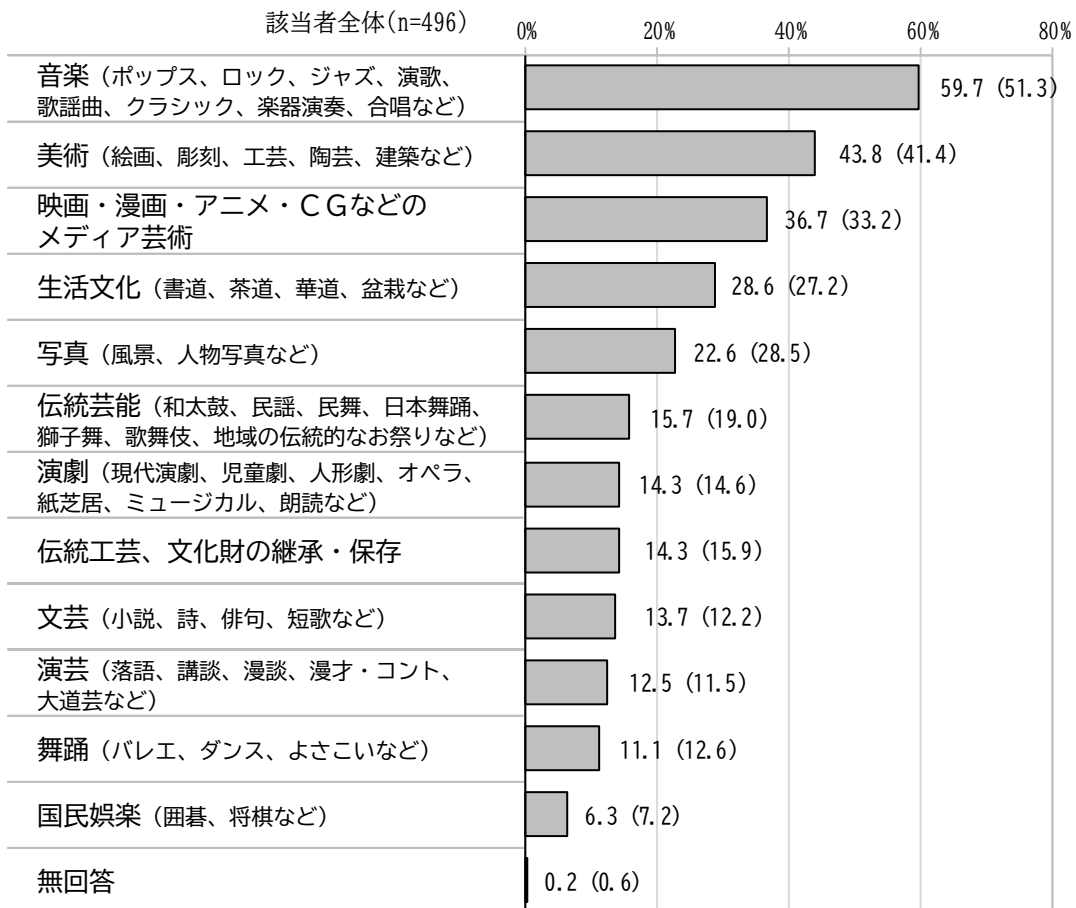
●この1年間に活動を行っていない方に、今後の活動意向の有無を聞いたところ、「はい（今後の活動意向あり）」は5割弱となっています。



※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=1,078）

(22) 今後行いたい活動の分野【報告書 72～74 ページ】

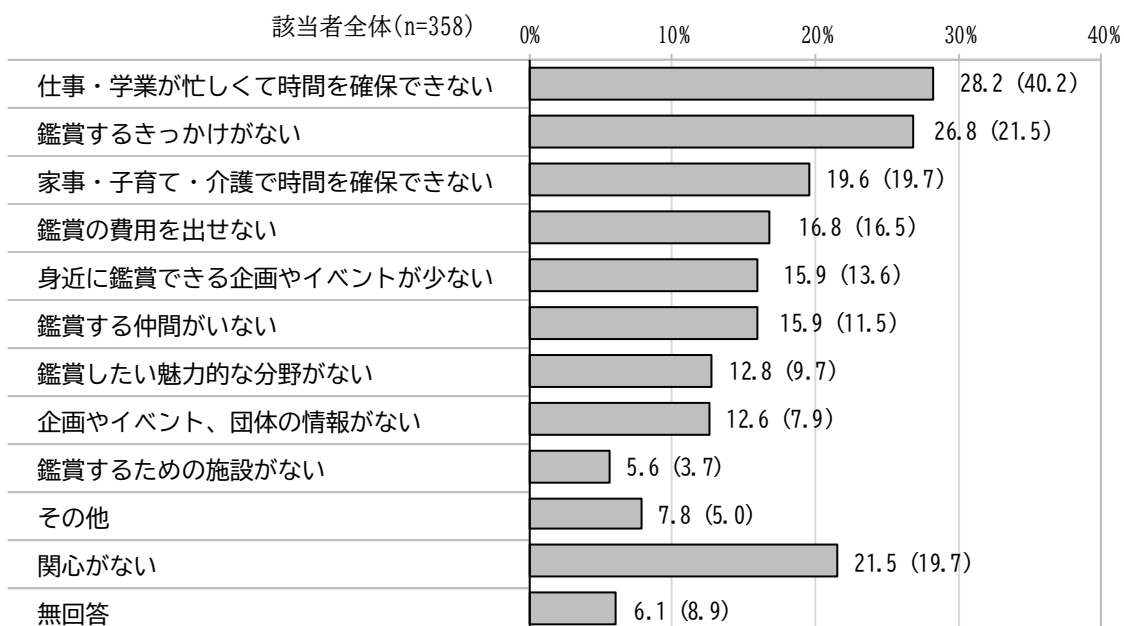
●この1年間に活動を行っていない方で、今後の活動意向ありの方に、今後行いたい活動の分野を聞いたところ、「音楽」が約6割で最も高くなっています。



※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=485）

(23) 鑑賞していない理由【報告書 75～77 ページ】

●この1年間に活動や鑑賞をともに行わなかった方に、鑑賞していない理由を聞いたところ、「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」が3割弱で最も高くなっています。

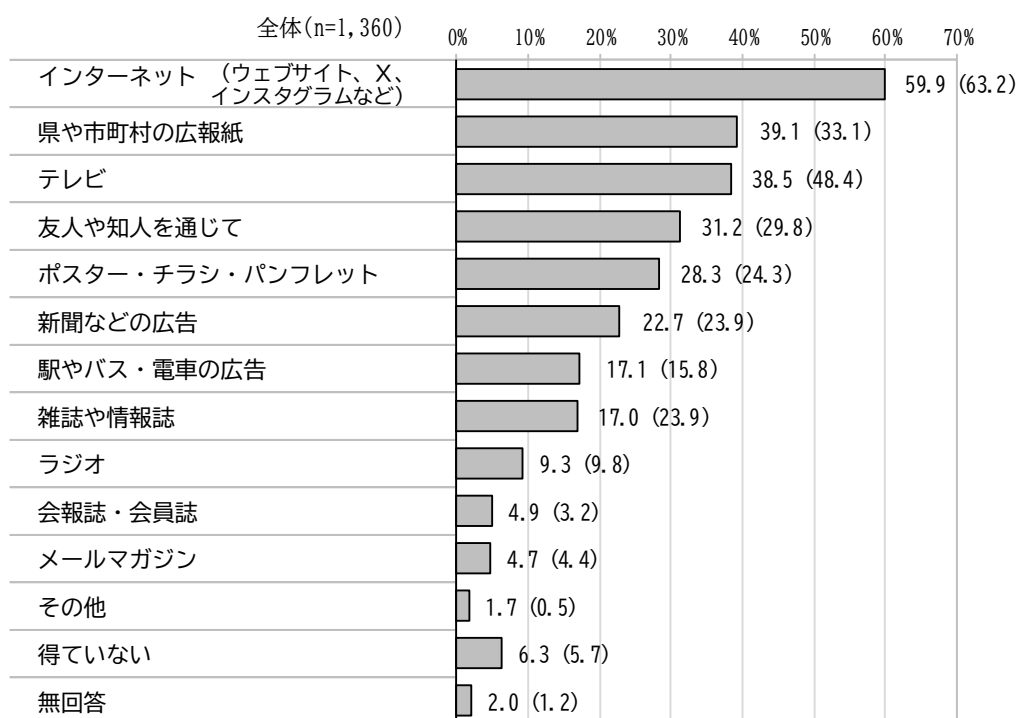


※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=381)

3 今後の文化芸術全般について

(1) 情報入手方法【報告書 78～80 ページ】

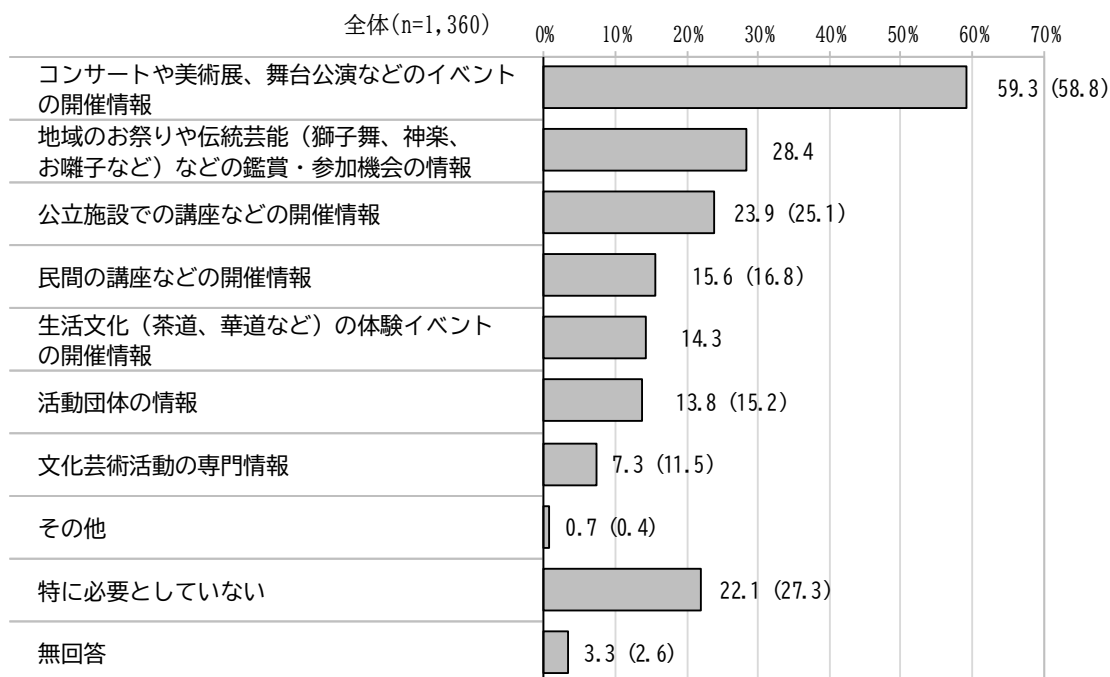
●文化芸術に関する情報入手方法を聞いたところ、「インターネット（ウェブサイト、X、Instagramなど）」が約6割で最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,702)

(2) 必要としている文化情報【報告書 81～83 ページ】

●必要としている文化情報を聞いたところ、「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」が約6割で最も高くなっています。

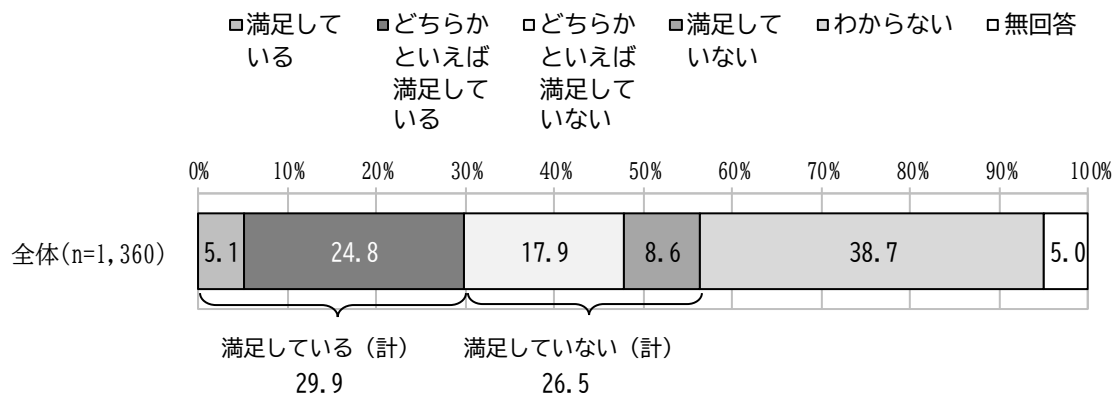


※（ ）内は令和2年度の調査結果（n=1,702）

※「地域のお祭りや伝統芸能（獅子舞、神楽、お囃子など）などの鑑賞・参加機会の情報」、
「生活文化（茶道、華道など）の体験イベントの開催情報」は今回調査で追加

(3) 埼玉県の文化的な環境の満足度【報告書 84～85 ページ】

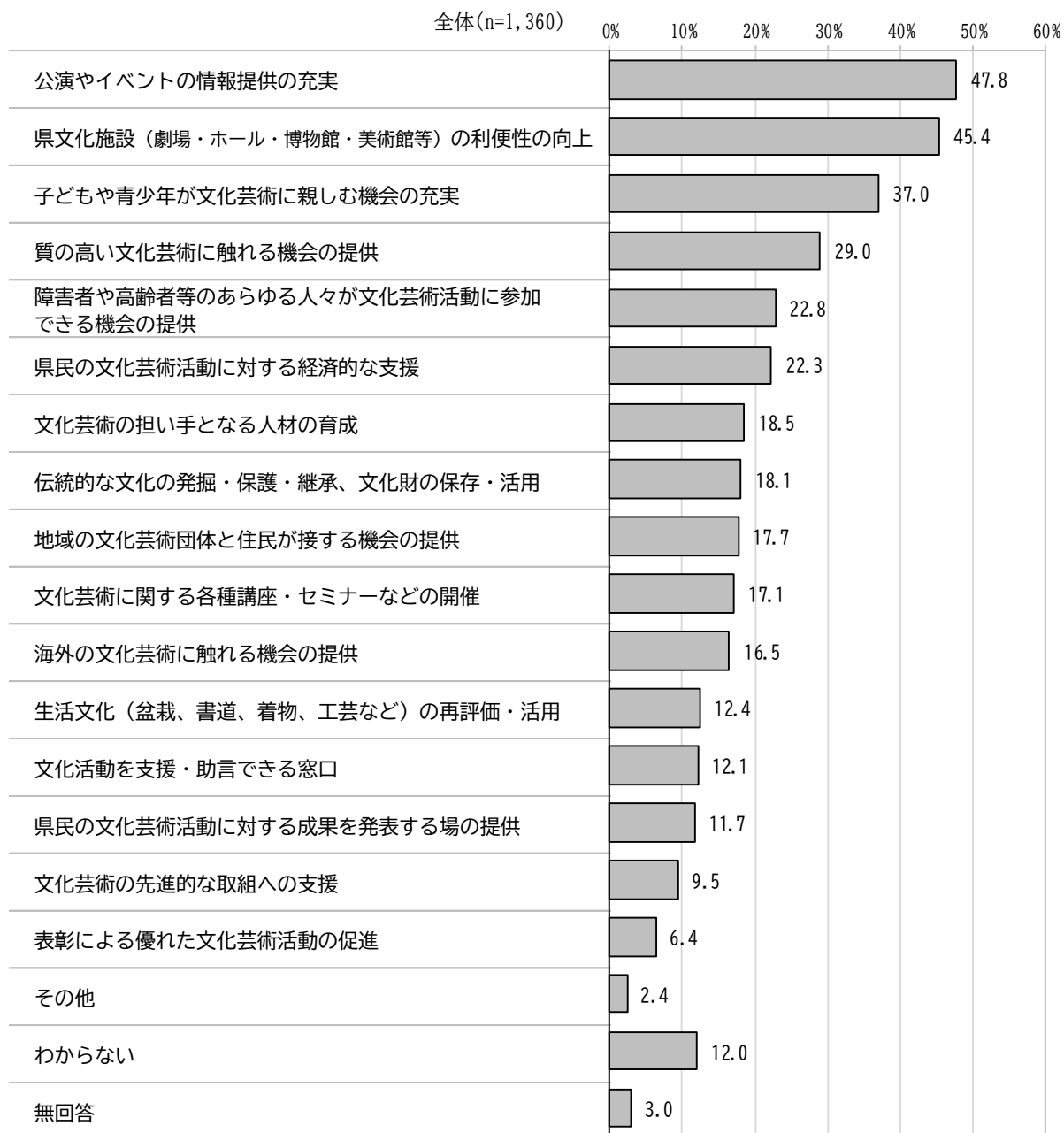
●埼玉県の文化的な環境の満足度を聞いたところ、「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた「満足している（計）」が約3割となっています。



※新規設問

(4) 埼玉県が積極的に取り組むべき分野【報告書 86～87 ページ】

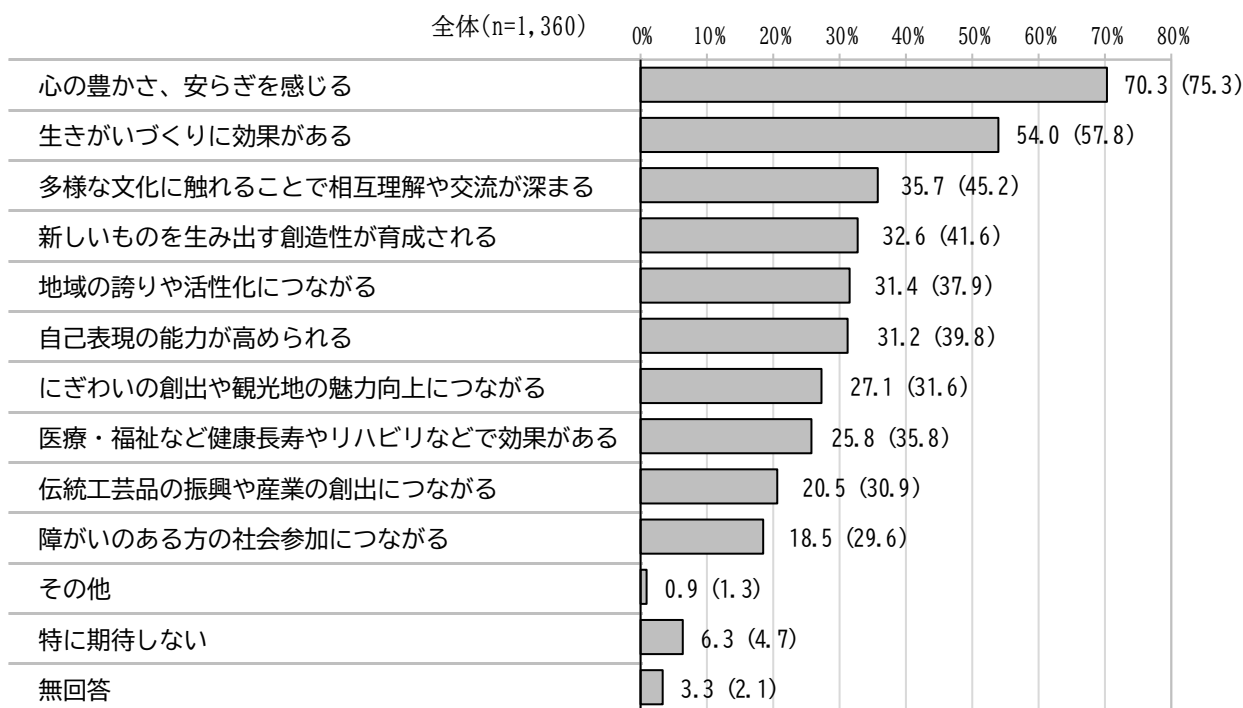
●埼玉県が積極的に取り組むべき分野を聞いたところ、「公演やイベントの情報提供の充実」が5割弱で最も高くなっています。



※新規設問

(5) 文化芸術に期待すること【報告書 88～90 ページ】

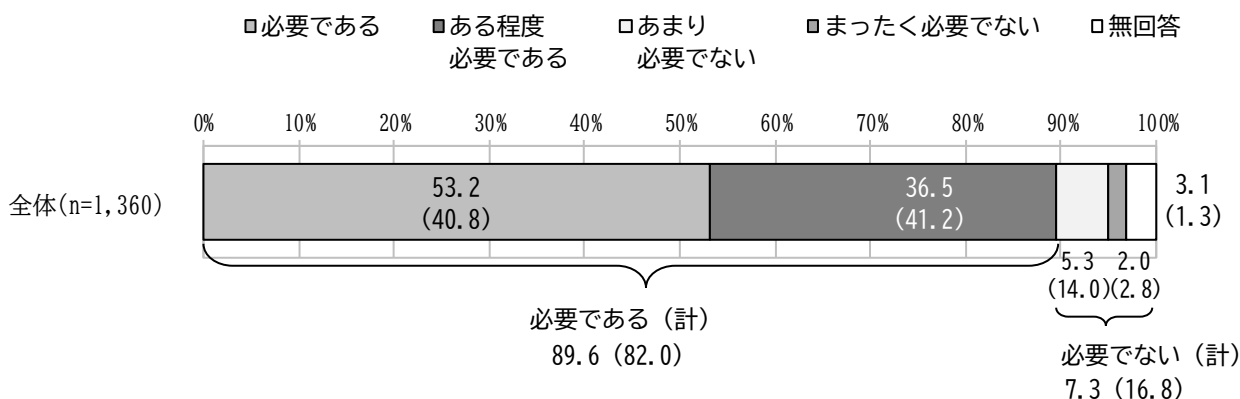
●文化芸術に期待することを聞いたところ、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が約7割で最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,702)

(6) 文化芸術の必要性 (コロナ禍を経て) の有無【報告書 93～94 ページ】

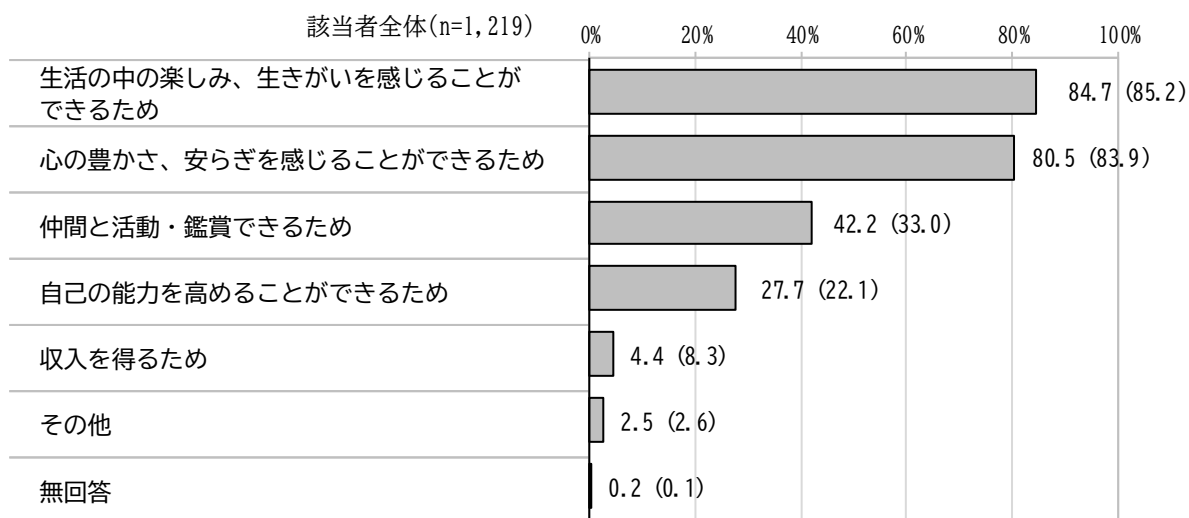
●文化芸術の必要性 (コロナ禍を経て) の有無を聞いたところ、「必要である」と「ある程度必要である」をあわせた「必要である (計)」は約9割となっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,702)

(7) 文化芸術を必要と考える理由【報告書 95～96 ページ】

●文化芸術を必要と回答した方に、必要と考える理由を聞いたところ、「生活の中の楽しみ、生きがいを感じることができるため」が8割台半ばで最も高くなっています。



※ () 内は令和2年度の調査結果 (n=1,395)

令和7年度 県民文化芸術活動実態調査 (概要版)
令和7年10月

埼玉県県民生活部文化振興課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

電話 048 (830) 2887 FAX 048 (830) 4752